

内視鏡機器が進歩し、高画素電子大腸内視鏡が日常診療のルーチン機器となり、また拡大観察すらルーチン検査の延長線上で容易に施行可能となり、極めて微細な所見まで瞬時に得られるようになった。このような中、得られた多くの情報から、大腸腫瘍の組織発生や発育進展を考慮したいくつかの新しい分類が提唱されている。しかし、実際には、これらの分類は“組織発生や発育進展に関する分類”のはずなのに、いわゆる“肉眼分類”と混同され使用されているきらいがある。また、大腸腫瘍の形態分類を単純化する目的で、①ポリープ型、②表面隆起型、③表面陥凹型の3群に大きく分類しようという動きもあるが、座談会で論じられているように陥凹型腫瘍の反応性辺縁隆起を無視することは現時点では問題ありと一

掃された。本号で胃癌肉眼分類の歴史も踏まえて述べられているように、臓器特性は多少あるものの、早期大腸癌の“肉眼分類”は食道癌・胃癌と同じように凹凸から得られる見た目の形態で単純に規定されるべきであり、こうすれば専門外の人にも容易に理解できる基本的な分類になりうるものと考えられる。もちろん、“組織発生や発育進展に関する分類”が大腸腫瘍の病態を考えるうえで重要であり、内視鏡的治療の適応決定や大腸癌の臨床研究の発展に寄与することは確かであり、これらについては“肉眼分類”とは全く別の土俵で(例えば“発育進展分類”として)今後も大いに議論され、その妥当性と臨床的意義が明らかにされるべきであろう。

胃と腸

12月号(第35巻・第13号) 予告

発売予定 12月25日
定 価 (本体2,300円+税)

主題/21世紀への消化管画像診断学一歩みと展望

序 説	21世紀への消化管画像診断学一歩みと展望	福大筑紫病院・消化器科	八 尾 恒 良
主 題	消化管の比較診断学—腫瘍性疾患	九州がんセンター	牛 尾 恭 輔
	消化管虚血性疾患の比較診断学	川崎医大・消化器内科II	古賀 秀樹・他
	臓器別からみた形態診断学—食道	東京都立駒込病院・外科	吉 田 操
	臓器別からみた形態診断学—胃・十二指腸疾患	藤田保健大第二病院・内科	芳野 純治・他
	小腸検査の展望	昭和大附属豊洲病院・消化器科	松川 正明・他
	臓器別からみた形態診断学—大腸疾患	多田消化器クリニック	多 田 正 大
	病理形態診断と分子生物学	国立がんセンター研究所支所・臨床腫瘍病理部	落 合 淳 志
	病理学—形態診断学と分子生物学	獨協医大・病理学(人体分子)	日下 利広・他
座 談 会	新しい診断機器開発の隘路と展望	国立がんセンター東病院・内視鏡部	吉田 茂昭・他

胃 と 腸 (第35巻 第12号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714

FAX (03)3815-7802/3815-7982

E-mail: itocho @ igaku-shoin.co.jp

2000年11月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,300円+税)(配送料116円)

2000年年ざめ予約購読料35,140円

(2号分の増刊号を含む14冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎(03)3814-8541

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 2000, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
-  <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>
- 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp> (担当)永安・小長谷・小松原・向山